

事業所名

こぱん

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

7年

2月

1日

法人（事業所）理念		ともに生き、ともに創る								
支援方針		<p>「将来に向けて」3つの生きる力を養います。お子さまが将来どのような人生を送ることができるかを、ご家族や関係機関と連携し、もくば会職員は法人理念のもと、共に生き共に創ってまいります。</p> <ol style="list-style-type: none"> さまざまな体験を通じて、チャレンジする力を育てます。 体験を積み重ねることで、好奇心や探求心を養います。 「して良いこと」「してはいけないこと」を知り、自分の力を調整する力を育てます。 個々の障害特性に合わせたアプローチにより調整する力を養います。 小さな成功体験、達成感を積み重ね、最後までやり遂げられる力を養います。 個別プログラムを通して、将来の仕事に繋がる力を養います。 								
営業時間		10時	0分	から	18時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成を支援します。トイレトレーニングや睡眠、感覚過敏に配慮しながら食を営む力を育みます。遊びの中や日常の個別課題を通じ、環境の配慮を行います。								
	運動・感覚	運動機能、バランス感覚、距離感など、様々な経験を通じて感覚の成長を支援します。運動のほか、音楽療法を用いて身体の動きや気持ちのコントロールができるよう支援します。力の加減を学び気持ちの安定を図ります。								
	認知・行動	個々の特性に応じて環境設定を行い、ルール理解や課題の遂行などを支援します。「できた！」を体験し、自己肯定感を高めます。また、苦手な部分も少しずつチャレンジできるよう働きかけ、社会に少しでも順応できるよう支援します。どのような環境設定であれば円滑に学べるかを本人と一緒に模索し、着席することや少し頑張ってみることで、様々な課題と向き合う力が育まれるよう支援します。								
	言語 コミュニケーション	言葉やサイン、カード等を用いてコミュニケーション能力を高めていきます。不適切とされる行動には、子どもたちがどのような問題と向き合い対処しようとしているのかを丁寧に観察し、社会的にも適切な行動をお伝えしながら支援します。要求、模倣、聴く力を育み、自分自身や周囲の人も大切にすることを学びます。								
	人間関係 社会性	集団活動や個別課題を通じてSST（ソーシャルスキルトレーニング）を用いながら相手が感じる気持ち、自分の気持ちを大切に、お友達や大人との人間関係を学びます。挨拶など社会生活に必要なスキルを身に付けていきます。また、気持ちのコントロールができるよう働きかけ支援します。子どもたちのペースに合わせて関わりを持ち、ストレスが溜まった場合にも対処できる力を養います。								
家族支援		ご家族の相談やお悩みに対するご家族の休息などのレスパイトケア			移行支援		カンファレンスの参加 各関係機関との情報共有、情報提供			
地域支援・地域連携		各関係機関（他放デイ、児発、相談支援事業所、保育所、学校等）との情報共有、密な連携 自立支援協議会への参加			職員の質の向上		接遇、虐待防止、ハラスメント、感染予防、人権などの法定研修 ケース会議、事業所内OJTの実施			
主な行事等		季節に合わせた行事、遠足など								